

第10回 比較

(1)

【例文】

1. Effort is as precious as, and perhaps more precious than, the work it results in.
2. He likes dogs better than cats.
3. Some people think much more about their rights than about their duties.
4. I can generally puzzle a thing out in time. And then, perhaps, I remember it better than if someone had helped me.
5. Comedy is just as true to one side of life as tragedy is to another.
6. The work was as difficult as we had thought it was.
7. He was born under a bluer sky than is generally seen in England. (475)
8. Things went better than had been expected.
9. She requires more attention than she is receiving.

【語彙とポイント】

obvious 形容詞 ob- (～に面して) + via (道) 明らかな、見え透いた
if 仮定法現在 現在の事実と反する仮想

left to themselves The children were left to themselves during the holidays.
子供たちは休暇中は彼ら自身に任された（放置された）。

adapt S adapt O(人・物) to X. 「Sは、人・物をXに適応させる」
ad (…の方へ) + apt (適切な)

circumstance = cir(circle, circum, circus) + st (stand, stance) 周囲に立つ→環境

to some extent Science has advanced to a great extent.
科学は相当の程度で進歩した。

extend ex(out)+tenir(hold) 外へ、引っ張る・つかむ 伸ばす

educational education = e(out)+ educere (draw out) 外へ、連れ出す、引き出す
教育的な

institution in(の中に) sti(立てる)

in view of of (起点、論点) からの視野の中では、…について見えることの中には、
In view of the circumstances, it seems best to wait until next month.
状況の点からは（状況を鑑みて）、翌月まで待つのが最良とみえる。

trust (traust,堅固、忠実) 信頼する

authority autorite (権力) から。権威。 author 著者も同語源

desire de(not)+sider(星に願う) sider (星、星を見て占う) 欲望

impulse im(中)+pello (駆り立てる) 衝動

utilize useと同系語 利用する。活用する

acquire ac(=ad: to)+quire (希求する) 獲得する

inquire (尋ねる：中に入って＋求める)、require (要求する：強く＋求める)

conquer (征服する：一緒に、完全に＋求める) [綴り注意]

knowledge <know (知る) 名) 知識

after all 全ての後で ⇒結局

traditional <tradition(伝統)=tra (渡って) +dit (dict: 言う)、語り継ぐ→伝統
traditional 形) 伝統的な

pedagogue a narrow-minded teacher pedo,pais(子供)+agogos (指導者)

possess …を所有する potis(power力のある)+sedere(座る)=占有する→所有する

possible=potere(力のある)+able (できる) =できる力がある→可能な、あり得る

worth imparting S is worth …ing

worth

This rare vase is worth \$1,000. この珍しい花瓶は1, 000ドルの価値がある。

This book is worth reading. この本は読む価値がある。

It is worth reading this book. この本を読むことは、価値がある。

It is worth while reading this book. この本を読むことは、(少しの)時間の価値がある。(Reading this book is worth while.)

It is worth your while reading this book.この本を読むことは、あなたの(少しの)時間の価値がある。(あなたにとって(一顧の)価値がある)

This work is worth our while. この仕事は、骨折り甲斐がある。

imparting [知識・情報など]を(人にto…)伝える

im(in,on) part (部分) : 分かち与える。

apart=a(ad,to) part 分かれて

S be devoid of X Sには(Xが)欠けている、不足している devoidは形容詞

He is devoid of common sense. 彼は常識が欠けている。

imagine を想像する。that節の中が現在形であることに注意。普遍の事実…というものだ。

instruction in (中) + struct (struo, structure) 指導、指導すること、されること
structure構造、construct(con一緒に、完全に)+stru (立てる) : 建築
misled misleadの過去分詞 miss (誤って) +lead (導く) [人を]誤り導く
failure to— …することに失敗すること S fail to v という形のfailを名詞にしたもの
Tchekhov, Anton Pavlovich 1860-1904. Russian author of plays and short stories

realise real(本当の、現実の) 実現する、現実化する、悟る

shortcoming short(短い、不足)+coming (来る物、来る事) =不足が来ること : 欠点、短所

kitten 子猫

mice mouse (ねずみ) の複数形

wouldn't このwouldは「意志」

terror 恐怖

with the result that =so that (結果) その結果…

She was in the bath, with the result that she didn't hear the bell.

《熟語 : 1 + 1 = 2》 1. theはthatが後続することを示す先行指標ではない。

2. thatは副詞節を形成する「結果」の接続詞

3. withは、原因・理由

with(原因、理由) He is in bed with a cold. 彼は風邪で寝ている。

The driver was charged with speeding. 運転手はスピード違反で訴えられた。

従って、

She was in the bath, <with the result that she didn't hear the bell>.ではなく

She was in the bath, <with the result> <that she didn't hear the bell>.であり、

She was in the bath, … that she didn't hear the bell.が主節+従属節で、そこにwith以下の前置詞句が挟まれているだけである。つまり、覚えなくてはいけないのは、with the result that =「その結果」、ということではない。withの用法とthatの用法である。そして、これらは既に、このコースでも検討済みの事柄である。新出情報は何もなかった、ということになる。このようにある事柄を掘り下げて研究して理解し、それを応用展開することによって、「丸暗記」を避けるということこそが重要な学習態度である。こういう態度で学習することは、常に、既習事項の活性化、新出情報と既習事項との有機的関連付

けを求めるので、結果として、新出情報が仮にあるとすると、それが既習事項に新たな意味づけを与えるのである。他方で、このような学習態度を持っていいない者は、いくつ覚えても、1 を聞いて10を知るという状態ではないので、1つ覚えて1つ利口になり、1つ忘れれば、その分馬鹿になるという、学習の生産関数がほぼ一次線形であるが、学習対象が増えると一般に生産性が遁減（少しずつ低下して行くこと）する。

in the presence of …がいと in(状態) of (主格) …が存在している状態では、
⇒…の面前では

so that (500) 結果

discipline しごき、訓練 discipulus (生徒)、disciplina (指導；学問)

but このbutは、「そして」とか「かつ」という意味として解した方が自然である。このように、butだから単純に常に逆説ということではない。but以下を強調しているからである。そう言われても、語義決定の技術がない者には、このことは理解ができない。

Now cats teach their kittens to catch mice, but they wait till the instinct has awakened

【例題】

It is obvious that most children, if they were left to themselves, would not learn to read or write, and would grow up less adapted than they might be to the circumstances of their lives. There must be educational institutions, and children must be to some extent under authority. But in view of the fact that no authority can be wholly trusted, we must aim at having as little authority as possible, and try to think out ways by which young people's natural desires and impulses can be utilised in education. This is far more possible than is often thought, for, after all, the desire to acquire knowledge is natural to most young people. The traditional pedagogue, possessing knowledge not worth imparting, and devoid of all skill in imparting it, imagined that young people have a native horror of instruction, but in this he was misled by failure to realise his own shortcomings.

There is a charming tale of Tchekhov's about a man who tried to teach a kitten to catch mice. When it wouldn't run after them, he beat it, with the result that even as an adult cat, it cowered with terror in the presence of a mouse. 'This is the man', Tchekhov

adds, 'who taught me Latin.' Now cats teach their kittens to catch mice, but they wait till the instinct has awakened. Then the kittens agree with their mammas that the knowledge is worth acquiring, so that discipline is not required.

【テーマ】正しい、教育指導のあり方について

【和訳】

明らかに、殆どの子供たちは、もし彼らが放っておかれでもしようものならば、読んだり書いたりを学びはしないだろうし、彼らが自分の人生の環境に対して、そうであるかもしれないよりも、より少なく適応しているように成長しているかもしれないが。（だから）教育機関は存在しなくてはならないし、子供たちはある程度、権威の下にいないてはならないものなのである。しかし、いかなる権威であれ完全には信頼され得ないものだという事実を見れば、我々は可能な限り僅かの権威（だけ）を持つことを狙い、若い人々の生まれながらの欲求と衝動が教育の中で活用されるような方法を考え抜くように試みなくてはならない。これは、しばしば考えられているよりももっと遥かに可能である。というのも、結局、知識を獲得したいという欲求は、殆どの若者にとって生来のものであるからだ。伝統的な（規則を重んじる）教師、分かち合う価値のない知識を持ち、そして、それを分かち合う全ての技術を欠いている、は、若い人々が指導されることに対して生来の恐怖を持っているものだと想像していたが、この点において、彼は自分自身の足らざる点を悟り損ねることによって誤って導かれていたのである。

一匹の子猫にネズミを捉まえることを教えようとしたある男についてのチェーホフ作品の中に魅力的な噺（はなし）がある。子猫がねずみの後を追おうとしない時、彼は子猫を叩き、その結果によって、結果として大人の猫としてでさえ、猫はねずみの存在を恐怖で縮こまった。「これが、その男だ」チェーホフは付け加えた、「私にラテン語を教えたのは。」まず、猫は、自分の子猫にねずみを捉まえることを教えるが、しかし、本能が目覚めるまで待つ。次に、子猫は、自分たちの母親に、知識は獲得するに値することについて同意しているので、しごきは必要とされないのである。